

# エコアクション21 環境活動レポート

対象期間 2009年 8月 ~ 12月

# エコアクション21環境活動レポート

2010年1月4日  
 香川県高松市福田町11番地1  
 穴吹エンタープライズ株式会社  
 代表取締役 小島 英夫

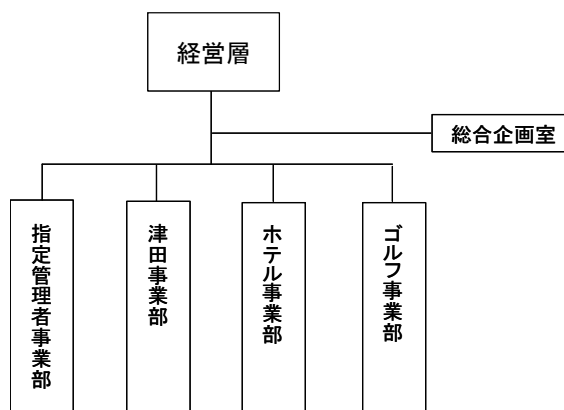
指定管理者事業部 環境管理責任者：水谷 正裕  
 (取締役・執行役員 指定管理者事業部長 兼アルファあなぶきホール館長)  
 事務局担当者連絡先： 総合企画室 平野 昌功 電話 087 (825) 0556

## ○全社組織とエコアクション21導入計画について



### □ 全社組織について

当社、穴吹エンタープライズ株式会社は下図に示すように、宿泊施設・料飲施設運営を主とする事業をホテル事業部と、スポーツ振興事業を主とするゴルフ事業部、サービスエリアおよび関連施設運営を主とする地域を統括する津田事業部、そして、このたび申請をいたしました、指定管理者事業部から構成されております。



### □ 今後のエコアクション21導入計画について

2009年度は、中長期的な経営展望において、最も中核的事業として位置づけております指定管理者事業部を対象にいたしました。当社の従業員を中心に、行政、市民と連携して環境保全活動を推進するためにエコアクション21を最初に導入いたしました。

今後は、指定管理者事業部での活動実績をベースに、以下のスケジュールで全社への展開を計画しております。

	2009年度	2010年度	2011年度
指定管理者事業部	→		
津田事業部		→	
ホテル事業部			→
ゴルフ事業部			→

## ○エコアクション21対象事業

指定管理者事業

## ○事業活動の内容

指定管理者制度に基づく、公の施設の維持管理・運営、イベント運営の総合プロデュース

## ○事業の規模

エコアクション21対象従業員数 52人(2009年12月末現在)

対象施設売上高 579,000千円(2008年7月～2009年6月)

以下の3施設において、指定管理者業務を遂行中。

### □ サンメッセ香川

所在地: 香川県高松市林町 2217-1 施設規模: 延床面積 11,663 m<sup>2</sup>

1994年開業(2005年4月より、香川県の指定管理者として当社が業務開始)

香川インテリジェントパーク内にある県内最大の総合コンベンション施設です。大小ふたつの展示場と、様々な会議室をご用意しております。大規模なイベント、見本市、展示会から少人数の会議、勉強会まで幅広くご利用いただいております。

### □ アルファあなぶきホール(香川県県民ホール)

所在地: 香川県高松市玉藻町 9-10 施設規模: 延床面積 27,820 m<sup>2</sup>

1988年開業:(2006年4月より、香川県の指定管理者として当社が業務開始)

音楽、舞踊、演劇、講演会などあらゆる舞台芸術やイベントに対応できる大小ふたつのホールと各種練習室、会議室を備えた香川県の舞台芸術の拠点施設。国内外の優れた舞台芸術の公演をはじめ県民の創作活動の発表、練習や全国規模の学会・大会、各種会議などに幅広くご利用いただいております。

### □ 高松テルサ

所在地: 香川県高松市屋島西町2366-1 施設規模: 延床面積 10,994m<sup>2</sup>

1993年開業:(2009年4月より、香川県高松市の指定管理者として当社が業務開始)

会議室、研修室、ホール等を有する多目的施設です。貸し館に加え、宿泊施設やトレーニングジムも併設しております。健康増進・文化教養のための自主企画事業を数多く実施しているほか、地域と一体となりテルサ音楽祭、勤労者美術展といったイベントなどにも広くご利用いただけます。

# 環 境 方 針

## ◆ 当社の企業理念

私たち穴吹エンタープライズ株式会社は、ご利用様が期待する以上のサービスを提供することで「安心」と「満足」と「感動」を追求します。

主体性や創造性が発揮できる自由な風土を創り、従業員一人一人の能力を最大限に発揮します。

ご利用様の満足を共通の喜びとして、信頼関係を相互に築き合います。

人々の出会いと交流の場を提供し、地域文化の伝承とともに、常に新しい文化の情報を発信します。

そして、地球環境に対する配慮をしつづける、優しい企業として、社会に貢献します。

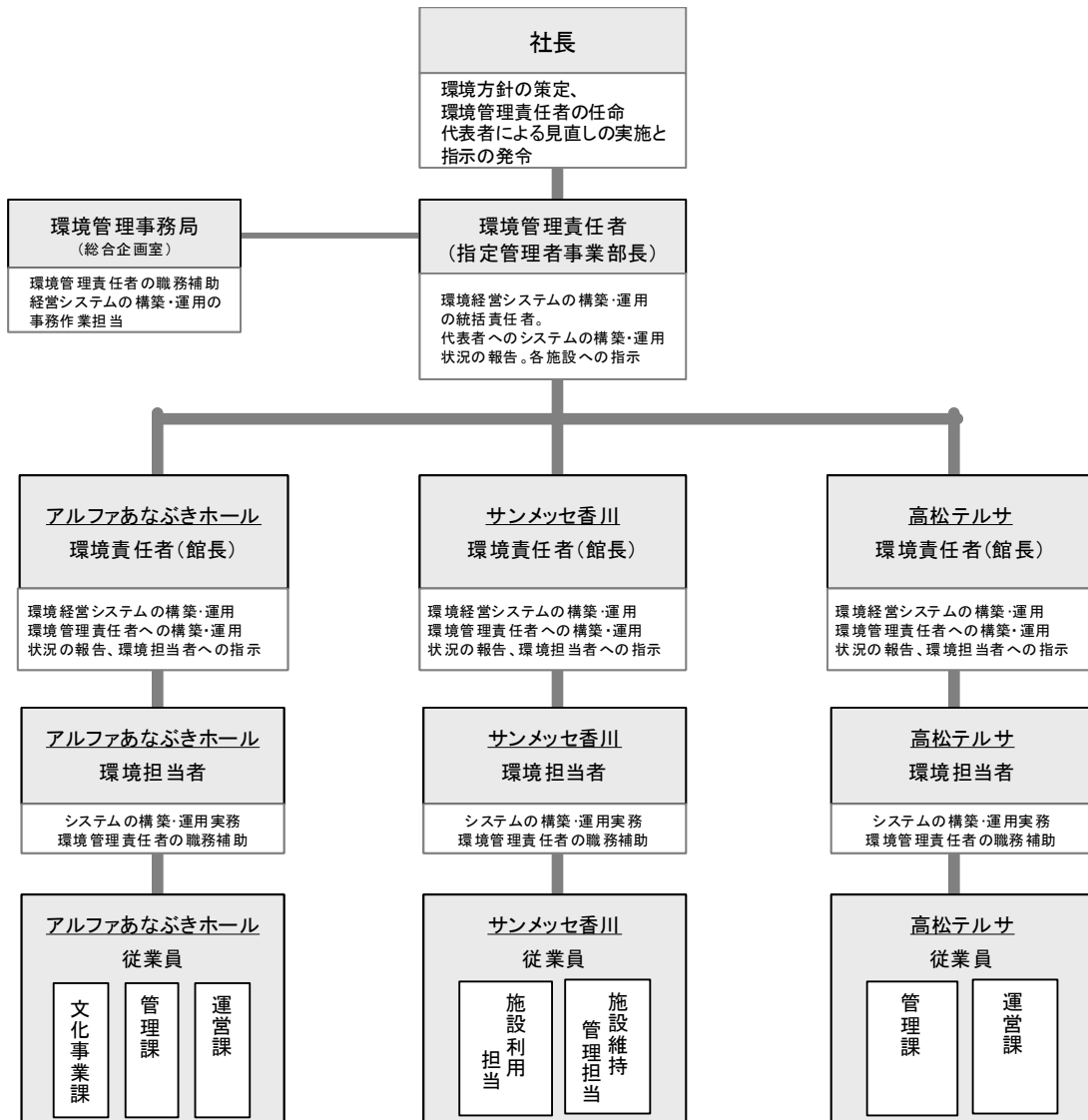
## ◆ 指定管理者事業部の方針

1. 当社の指定管理者業務において、環境負荷の低減を実現していくため、施設設置者（県・市等の地方公共団体）に対し施設の改善等について積極的な提案、働きかけを行います。
2. 環境配慮活動を行っていくために、施設をご利用いただくご利用者様に対する啓発活動を積極的に行います。
3. 環境負荷の少ない事業活動を推進し、継続的改善と汚染予防に留意することにより、自然環境の保全に貢献します。
4. 環境関連法規制及び当社の同意したその他の要求事項を順守します。
5. 環境目標を設定し、これを着実に推進し見直す仕組みとともに保持します。
6. 環境方針の適切性を常に判断し、当社の活動、サービスに合わせて、定期的に見直します。
7. 本方針は、環境管理責任者が該当する全従業員に周知し、全従業員はこの方針をよく理解し、日常的に環境管理活動が維持されるよう努めます。

2009年8月20日

代表取締役 小島 英夫

# エコアクション21推進体制組織図



○各施設における環境目標とその実績を以下に示します。特にご注目いただきたいのは、

## ☆環境配慮意識をご利用者様にご理解いただくための啓発活動

### ☆従業員の環境知識・意識の向上を目的としたエコ検定合格(受検)

各施設において、弊社従業員による独自の活動には自ずと限界があります。しかしながら、弊社従業員が取り組む活動が基点となり、環境配慮の輪(和)を、「地域」や「社会」、従業員の家族、知人・・・等に、粘り強く広げていくことができるものと確信しております。従いまして、この環境目標は、指定管理者事業を今後も運営していく上での根幹となるものです。

○環境目標(次項目参照)に目標を掲げておりますが、私たちは、以前より環境活動に取り組んでまいりました。年度の経営計画や方針の中で環境配慮にも関連する目標を設定しておりました。また、顧客「不」満足度調査や全社規模でのCS(お客様満足)推進活動の実施により、お客さまのニーズや社会環境の変化を施設運営に反映しております。今後はエコアクション21の導入により更なるレベルアップを図ります。

もちろん、サービス業という性格上、お客さま(ご利用者様)へのサービスレベルを落とすことのない方法、範囲内での活動とします。各施設とも公の施設であり、改善諸策は地方公共団体の承認後の実施可能となる部分もありますが、今後も積極的に施設設置者である地方公共団体へ提案する方針です。



## ◆ サンメッセ香川

[運用期間2009年9月～12月]

環境目標	①排出量(目標)	②排出量(結果)	③ 成果 (②-①)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	402,041.8 kg-CO <sub>2</sub>	334,958.3 kg-CO <sub>2</sub>	▲67,083.5 kg-CO <sub>2</sub>
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減	32,900 kg	32,900 kg	目標どおり達成
3.節水による総排水量削減	3,881.7 m <sup>3</sup>	3,187.8 m <sup>3</sup>	▲693.9 m <sup>3</sup>
4.コピー用紙使用量の削減	170,972 枚	162,895 枚	▲8,077 枚
5.上記項目の従業員・ご利用者様への啓発	従業員への教育を年3回以上、及び、ご利用者様への啓発を目標として継続中。従業員への教育については実施済み。 ご利用者様へは館内随所にて、カード等により活動と呼びかけております。		
6.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上	2 名	2月発表	(合格予定)

※ 各施設の目標数値は、過去3年の同期の実績値平均を基に設定しております。

### 【 活動実績 】

経営計画や顧客「不」満足度調査の結果、全社規模でのCS活動に基づく施設運営を実施中です。環境配慮に関連する具体的事例(一部)としては以下のとおりです。

- 従来は財団による運営の時から、ご利用者様への提出書類の書式提供を郵送で行っていましたが、施設設置者へご利用者様の利便性向上を目的とした改善提案の結果、ホームページによる提供が一部可能となりました。また、会場や設備の図面についてもPDF化し電子メールでの提供が可能となり、利便性と業務効率の向上、省エネルギー化にもつながる結果となりました。
- 会議室の照明スイッチの分割パターン(左右分割から前後分割パターンへ)を変更することによって、利用状況や規模に応じて、きめ細かく調整でき省エネルギー化に貢献できる取り組みです。
- 2009年11月より全館でエコキャップ運動に取り組んでいます。敷地内外周の植栽が枯れ美観上良くない場所が数箇所ありましたが、職員により植樹を実施、あまりコストをかけずに美観を改善でき環境緑化にもつながりました。



## ◆ アルファあなぶきホール

[運用期間2009年9月～12月]

環 境 目 標	①排出量(目標)	②排出量(結果)	③ 成果 (②-①)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	626,801 kg-CO <sub>2</sub>	666,812 kg-CO <sub>2</sub>	40,011 kg-CO <sub>2</sub>
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減	6,007 kg	3,275 kg	▲2,732 kg
3.節水による総排水量削減	5,041 m <sup>3</sup>	4,251 m <sup>3</sup>	▲790 m <sup>3</sup>
4.コピー用紙使用量の削減	56,213 枚	29,837 枚	▲26,376 枚
5.上記項目の従業員・ご利用者様への啓発	従業員への教育を年3回以上及びご利用者様への啓発を目標とし継続中。従業員への教育については計画通り実施済み。 ご利用者様へは館内随所にて、カード等により環境配慮活動へのご理解を呼びかけております。		
6.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上	4 名	2月発表	(合格予定)

※ 各施設の目標数値は、過去3年の同期の実績値平均を基に設定しております。

### 【 活動実績 】

経営計画や顧客「不」満足度調査の結果、全社規模でのCS活動に基づく施設運営を実施中です。  
環境配慮に関連する具体的事例(一部)としては以下のとおりです。

- ・ 水道光熱費については指定管理者業務開始時より毎年、経営計画の中に目標を掲げ、縮減に取り組んでいます。
- ・ 2008年8月の渇水時より、施設全体の本管の減圧を開始(目視で60%程に設定)、現在も継続中。
- ・ 2009年度の経営方針のひとつとして『ファシリティマネジメント(施設管理)の強化』をあげています。
- ・ 日頃の定例会議等で委託業者との連携を密にして施設の機能性、快適性の追求を目指しています。
- ・ 運転負荷軽減の視点より、空調機と空調機フィルターの清掃回数を増やしています。



## ◆ 高松テルサ

[運用期間2009年9月～12月]

【単位はご利用者様1名あたりで算出しています】

環境目標	①排出量(目標)	②排出量(結果)	③ 成果 (②-①)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	2.55 kg-CO <sub>2</sub>	2.18 kg-CO <sub>2</sub>	▲0.37 kg-CO <sub>2</sub>
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減	3.969 g	2.467 g	▲1.502 g
3.節水による総排水量削減	24.70 ㍓	23.37 ㍓	▲1.33 ㍓
4.コピー用紙使用量の削減	0.915 枚	0.541 枚	▲0.374 枚
5.上記項目の従業員・ご利用者様への啓発	従業員への教育を年3回以上及びご利用者様への啓発を目標とし継続中。従業員への教育については計画通り実施済み。 ご利用者様へは館内随所にて、カード等により環境配慮活動へのご理解を呼びかけております。		
6.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上	2 名	2月発表	(合格予定)

※ 各施設の目標数値は、過去3年の同期の実績値平均を基に設定しております。

※ 施設の稼働状況による変動が大きい為、排出量はすべてご利用者様1名あたりで算出しております。

### 【 活動実績 】

指定管理者としての運営1年目であり、各業務及び設備の実態を把握しながらの管理運営となっておりますが、委託業者との協力もあり順調である。施設の運営を始めてから、1年未満という短期間であるため、環境活動の実績やケーススタディも、今後さらに充実させるべく取り組んでいます。これまで実施してきた具体的な事例としては以下のとおりです。

- ・ 2009年度の経営方針のひとつとして『水道光熱費の使用料削減』を掲げております。具体的な目標として、対前年で△2%。現状、目標達成にむけ順調に推移しております。
- ・ 案内板などにより機器の操作方法やスイッチ類の位置を詳しく案内するようにしました。例えば、コインコピーの操作方法を、図解にしてコピー機のそばに掲示することで、機械の操作間違いによる、ミスコピーが削減されました。

それぞれの取り組みの効果は、小さいかもしれませんが、全館通年365日で継続的に実践することで、確実に、環境負荷の低減を実現できるものと確信しております。



○エコアクション21に基づき環境目標から展開される主要な環境活動計画の内容は以下の通りです。今後さらに環境活動に注力する目標を 全施設共通として以下に示します。

1. 『省エネルギー化の推進』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① クールビズ・ウォームビズの励行
- ② 空調機フィルターの清掃
- ③ 不要照明の消灯とチェック

2. 『廃棄物分別・リサイクル』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① 紙ゴミの分別
- ② 缶・ビン・ペットボトルの分別
- ③ 使用済封筒の再利用
- ④ フラットファイルの再利用



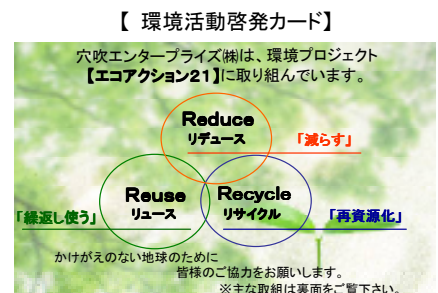
3. 『節水』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① 止水状況をこまめにチェック
- ② 節水の呼び掛け
- ③ 毎日の検針



4. 『コピー用紙使用量削減』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① コピー機・輪転機のカウンター数を確認
- ② 事務スペース内電子回覧の推進
- ③ 印刷前の倍率・サイズ等の再確認
- ④ 予備コピーをとらない



5. 『環境配慮啓発活動』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① 従業員教育の実施
- ② ミーティング時に実績報告と削減啓発
- ③ 環境活動啓発カードの配布  
(来訪時・利用許可書や請求書の送付時等)

6. 『エコ検定合格(受検)』、『私たちは、こうします。』

従業員のエコ意識を高めるため、関係者は計画的に受検を進め、エコ検定の合格者を増やす

上記の各活動については、「環境活動監視チェックシート」を用いて定期的に監視し、NG発生の場合は、随時修正処置を施しました。事案によっては、原因追究、再発防止処置を施すこととなりますが、これまでの取り組みにおいて、是正処置事例はありませんでした。

## ○環境活動の取組結果の評価

(代表者による見直し記録から・・・2009年12月2日実施)

### 1. 環境目標とその実績

目標は上記の通りですが、各施設とも、環境目標の目標値に対して、CO<sub>2</sub>排出量では、2つの施設で10%超の削減をすることができました。廃棄物排出量、節水、コピー用紙の使用量のそれぞれで、削減目標をすべての施設が達成しております。具体的数値は「環境活動計画書兼実績記録」に表わしていますが、引き続き、環境配慮活動を継続して目標の達成に努めたいと考えています。

### 2. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価

環境活動は上記の通りですが、各施設とも「環境活動チェックシート」により取り組み状況を監視しています。とりまとめの結果、運用開始当初は不慣れなため、いくらかの不備が見受けられましたが、3ヶ月経過した段階で、ケアレスミスは減り、注意深い運用が行われるようになってきました。この活動を継続していくことで、目標値の達成は十分見込めると考えています。

## ○環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社の活動に関係する環境関連法規の順守には日頃から注意を払っており、違反、訴訟等はまったくありません。

当社は、今後とも『指定管理者事業』の特殊性を十分考慮した環境配慮活動を、継続的に改善してまいる決意です。そして、この活動を自社のみでとどめるのではなく、広くご利用者様、地域社会の皆様のお取り組みにも、貢献させていただけるように努めます。

地球環境の悪化がこれ以上進まないように憂慮され、常に問題意識をもっていらっしゃる皆さまとともに、次の世代に、よい地球環境を引き継げるよう、日々の活動を継続してまいります。

以上

※ 今後随時、環境活動レポートは当社の公式ホームページでも公開いたします。下記 URL にてご覧ください。

<http://www.anabuki-enter.jp/>